

7月6日（月）朝礼にて 校長講話

このあと1時間目に学校祭に向けての第一歩、ブロック別集会がありますので、手短にお話ししたいと想います。

今も、いくつかの種目で、連盟の大会や西尾張の大会で日頃の練習の成果を十二分に発揮して優秀な成績を収めてきてくれました。今週の土曜日から夏の大会が始まる部もあります。まだ、やり残したことがあるかもしれません。また、やりきって本番を迎えられる部もあるでしょう。

これから1週間で、気をつけなければいけないのは、気持ちと怪我でしょうか。先週、残念なニュースが入ってきました。水泳の萩野公介選手が世界大会に出場することが決まっていたのだけれど、骨折をしてしまって帰国したということでした。「水泳選手がなぜ骨折かなあ。練習のしすぎで疲労骨折でもしたのかなあ。」と思っていました。実際は、つまずいてこけてということでした。多くの人たち、そして何より本人が悔しい思いをしたと思います。たくさん練習を積んでも、ちょっとした心の隙から、学校生活で、家での生活で、怪我をしたり体調を崩すかもしれない、そういうことに気を遣うことがとても大切だと思います。

もう一つは、先々週もお話ししましたが、気持ちです。みんなが気にしている、サッカーのワールドカップ、カナダのバンクーバーで行われています。ちょうど今、前半が終わったか後半が始まったくらいかと思います。皆さんが入場してくるまでの間、インターネットで試合経過を確認しましたが、試合開始16分でアメリカが4点。そして、27分で日本が1点を返したところまで確認しました。試合は進んでいますから、今は違ってもかもしれませんが、4対1という途中経過です。私はサッカーの専門家ではないので、分かりませんが、昨日の記者会見で澤選手に匹敵するアメリカのワンバック選手が「2011年7月17日」この言葉を口にしました。4年前のワールドカップで、日本に負けたその日です。日付を覚えているくらい悔しい思いで4年間を過ごしてきたのだと思います。気持ちの強い人だと思いました。

心と体、強い気持ちを持って大会に臨んで下さい。また、学校祭のブロック別集会にも同じように臨んで欲しいと思います。